

人のうごき

平成24年7月届出分を掲載(希望者のみ)

おたんじょう

高野	乙綺 ^{いつき} ちゃん	(祐二・由恵)	港町
倉田	煌大 ^{こうだい} くん	(和幸・貴代美)	南3の6
中村	彩夏 ^{あやか} ちゃん	(貴・明子)	南4の1
工藤	穂乃花 ^{ほのか} ちゃん	(政人・智香子)	幸町
清水	秀哉 ^{しゅうや} くん	(和也・幸代)	栄町

ごけっこん

野上 洋介 ^{さん}	石田 友梨恵 ^{さん}	北5の2
---------------------	----------------------	------

おくやみ

杉澤	ハナ子 ^{さん}	91歳	北町
伊藤	直司 ^{さん}	85歳	北2の1
多田	涼子 ^{さん}	75歳	北3の1
芳賀	ミツ子 ^{さん}	77歳	浜町
新妻	義一 ^{さん}	84歳	栄町
三浦	博 ^{さん}	81歳	天売
菅原	東一 ^{さん}	88歳	焼尻

人口と世帯数(7月末)

人口	7,925人	(-7)
男	3,764人	(-1)
女	4,161人	(-6)
世帯数	3,842世帯	(-5)
	()	は前月比



羽幌町加賀獅子保存会 青年部長

熊谷 忍^{さん} (37才・幸町)

町のみんなに喜ばれる
伝統の加賀獅子舞を
次の代までずっと繋げたい

「お祭りが好きだから、自分ひとりじゃなく、大勢でみんなと一緒に楽しめるのがいいと思ってます。町中が盛り上がるし、喜んでもらえるし」そう語るのは加賀獅子保存会青年部長の熊谷さん。毎年、羽幌神社例大祭で迫力ある姿を見せてくれる加賀獅子舞は羽幌町の無形文化財にも指定されています。熊谷さんは、獅子や子どもたちの棒振り、笛・太鼓のメンバー全体を束ねているのです。「練習は、お祭りの一ヶ月くらい前から毎日です。急にやることができるものじゃないし、仲間と一緒に何年も重ねて経験してるからできる」と思つたと言います。自身は小学5年生で棒振りから始めたんです。初めて獅子頭を持ったのは中学生の頃かな。最初は親にダメだって反対されてね。あぶないからってさ」と笑います。「御輿との練り合いはすごい緊張しますよ。自分でどうやってたらカッコよく見えるか考えたりしましたね。今、先導する側になると、怪我のないように気を使っています」とも。

奥様と娘さん(小3)は笛息子さん(小5)は棒振りという加賀獅子一家。次の世代に引き継げるように、ずっと続けていきたいです」と、きりりとした口調で話してくれました。

編集後記

今月は、天売、焼尻と結びフリーターミナールの新築の話題を9頁に掲載しました。ターミナルの建てられる羽幌港の中央埠頭では、北るもい漁業協同組合の事務所や市場などの関連施設も新築移転するので、供用開始となる来年4月は、港周辺が大きく生まれ変わるようになります。漁協施設のエリアについては、愛称を全国の小学生に呼びかけて現在募集中ですが、どんな愛称になるかも楽しみです。さて、「はぼろ人」の熊谷さん。昔やってた人たち、自分達より上の人たちがいてくれるから心強いと大先輩たちへの尊敬の言葉が印象的でした。昔から引き継がれているふるさと羽幌の文化、これからも町中で応援していきたいですね。(M)

